

伸びよう 伸ばそう 青少年

三つの基本姿勢

- (1)子どもや青少年をしっかり見つめる
- (2)大人が変われば子どもも変わる
- (3)さんかけ運動を推進する

(1)子どもや青少年をしっかり見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握して、私たち大人がやるべきことを見極め活動することが大切です。



入学期・11月の教育月間に合わせて、学校と合同であいさつ運動を実施。平成30年度は計8校で実施。

青少年育成稲敷市民会議の主な事業

(2)大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考えに立ってみると、私たち大人が、まず、しなければならぬことがあります。

それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

(3)さんかけ運動を推進する

「さんかけ運動」は『青少年 気にかけて 目をかけ 声かけよう』のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気にかけていて、また、みんなが目を向けていて、必要なら一声かけようという運動です。

いつも気にかけてり、目をかけることによって子どもや青少年の実態を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



『のぼり旗』の作成
推進のぼり旗を作成し、市内のこども園
幼稚園・小中学校・保育園・各庁舎公
民館などへ掲げ、運動を展開

活動内容

青少年育成稲敷市民会議ではこのような活動をしてきました。

『映画会』の開催

子ども達の夏休み期間に合わせて、青少年向けの映画を上映しています。平成30年度は7/15(日)に江戸崎公民館で開催し、子どもから大人まで306名に鑑賞いただきました。

今年度も開催予定(7/14(日))ですので、ぜひ親子でご覧ください。

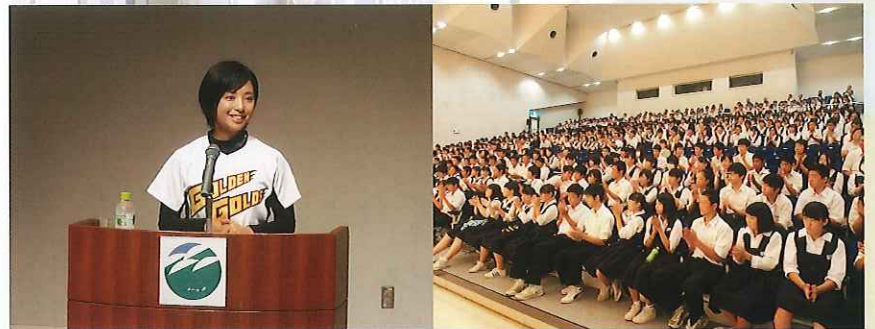
『ボランティア清掃活動』

毎年子ども会育成連合会と合同で清掃活動を行っています。平成30年度は和田公園周辺で実施し、140名以上の参加をいただきました。



『講演会』の開催

平成30年度は8/21(火)に「中学生に夢を与える講演会」を江戸崎公民館にて開催し、江戸崎中学校、桜川中学校の生徒を対象に実施いたしました。「夢ある限り努力は無限」をテーマにご自身の中学時代の苦悩や葛藤を交えた講演では、同じように夢を抱えている中学生の心に深く響く講演会となりました。



「夢ある限り努力は無限」

講師 茨城GG選手兼監督 タレント 片岡 安祐美 氏

『広報紙』の発行

広報部を中心に市民会議の活動内容を広く市民の方にお知らせするため、広報紙「わかくさ」を発行し、市内全戸へ配布しています。



『主張大会』の開催

大会部を中心に「稲敷市青少年の主張大会」を開催しています。青少年が考えていることを社会に主張することで、社会の一員としての役割を自覚すること、また、大人が青少年の理解と認識を深めることが目的です。



会場：江戸崎公民館
*市内4中学校と4小学校、1高等学校の代表が主張発表

『主張大会作文集』の発行

「稲敷市青少年の主張大会」の作文集を作成し、配布しています(図書館、公民館でご覧いただけます。また、回覧を予定しています。)



青少年育成稲敷市民会議

事務局：稲敷市教育委員会 生涯学習課

稲敷市犬塚1570番地1
TEL 029(892)2000(代表)
FAX 029(892)0906